

様式3

「子どもの生きる力」の育成プロジェクト

八幡市
中核エリア含む
市内全域

事業の概要・背景

【概要】

特に就学援助率の高い地域(小学校区)を中核エリアと位置づけ、家庭環境や経済状況に関わらず、地域のつながりの中で「生きる力」が身につくよう、地域住民・大学生などの地域ボランティアによる家庭教育支援を進めるとともに、授業環境の改善や運動習慣・経験の充実、教員の負担軽減など多様なアプローチによる子どもの学力向上を目指す。また、エリア内の小中学校特別支援教育の充実を図るとともに、就学相談と発達検査との連携を図り、早期療育につなげる。地域で子どもの「生きる力」を育成することを通じて、まちづくりの担い手育成と地域の活性化を図る。

【背景】

- 本市では就学援助率が高いことが課題としてあり、また特別支援学級在籍者数や通級指導を受ける児童生徒の割合が年々増加傾向にある。
- 「見える化ツール」においては、「人々のつながり」と多子出産との相関がみられ、地域ぐるみでの子育て・教育環境が求められている。
- 本市独自のアンケート結果においては、経済状況と子どもの学習環境との相関がみられ、家庭環境にかかわらず学習支援を受けられる機会の充実が重要となっている。

主な事業

- ◇: 交付対象事業
- ◆: 関連事業

- ◇地域による寺子屋事業
- ◇学力向上推進事業(学習支援員配置)
- ◇民間事業者による水泳指導事業
- ◇特別支援教育支援事業

成果指標

- 地域による寺子屋事業登録者数
- 全国学力・学習状況調査結果(小6)
※全国平均を100とした場合の本市の数値
- 将来への夢や希望を持つ子どもの割合

| 基準年度(基準値) | 目標年度(目標値) |
|--------------------------|----------------------|
| R4(0人) | R5(150人) |
| R3(国語97.4 算数94.0) | R9(国語105 算数105) |
| R3(小6:79.9% 中3:66.2%) | R6(小6:90% 中3:80%) |

エリア一体で取り組むポイント

ポイント

地域住民や学生、学校、民間事業者などエリア内の多様な主体が様々なアプローチで学力向上を核とした子どもの「生きる力」の育成を進め、まちづくりの担い手育成と地域の活性化を図る。

- 中核エリアの2小学校で「学習支援事業」を出張実施し、地域ぐるみの家庭教育支援を展開
- 授業環境改善に向け、エリア内の小中学校に学習支援員を配置
- 民間による小学校の水泳指導や保育園のプール環境改善を実施し、指導力強化と教員の負担軽減、ひいては学力向上を目指す。
- 加えて、エリア内の小中学校に特別支援教育支援員を配置するとともに、ソフトウェアを導入し支援水準の向上を図り、さらには児童発達支援センターにおいて就学相談との連携による発達検査を適切に実施。

